

に仁王の股くぐりなら
万満寺
り竜宮の門をくぐれば
布施弁天
う運河の橋のたもとに
ビリケン君
か茅葺の民家に住んだ
ハリストス
お鬼を弓で射る雷神社
のおびしや神事
ふ風車とチューリップの
あけぼの山
や野鳥の森もある手賀
丘公園
さ猿面や獅子が踊る西
光院の施餓鬼供養
の農民や馬のオアシス
こんぶくろ池
ま将門の伝説を秘めた
我孫子の日秀(ひびり)
た高瀬舟積んでお江戸
へ天晴、万上
わ渡し舟に乗って野菊
の墓詣で
取り札・読み札
たて10センチ よこ7センチ

東葛歴史かるた

旅行作家・中村哲夫氏の新作

まだ猛暑が続いていた9月下旬、流山の「杜のアトリエ黎明」で新作かるたの発表会があった。グラフィックデザイナーで旅行作家、カメラマンでもあり、ペン画も鮮やかな著書の多い中村哲夫さんが東葛近辺の歴史を解説したかるただった。取り札のイラストが楽しい。その裏面には、解説(青木更吉)があり、次のように、東葛の個々の歴史を教えてくれる。

り 竜宮の門をくぐれば布施弁天 布施弁天は関東の三弁天に数えられるほど有名で、江戸からの参詣者も多かった。小林一茶も我孫子にいた志賀直哉も来ている。鐘楼は多宝塔スタイルという珍しいもので、文化一五年の建築。本堂は総朱塗りの華麗な造りである。楼門は竜宮造り出、朝廷の勅願寺だったので、正使や副使が通る通路がある。

に 仁王の股くぐりなら万満寺 馬橋の水戸街道沿いにある万満寺は、江戸にまで聞こえた名刹である。それは江戸まで出開帳したり、式亭三馬の「浮世風呂」で紹介されたためである。出開帳では、仁王様を江戸の本所まで船で運んだようだ。春の仁王様の股くぐりは、中風よけ等にご利益があると、順番待ちの長い行列ができる程の人気がある。

かるたの連絡先 柏市戸張1030-11中村哲夫04-7163-4638

末広クラブ・逆井漫步164 平成23年11月

